



シルバーだより

No. 413
令和7年10月1日
荒川シルバー大学
荒川区荒川 3-49-1
理事長 箭内忠義
TEL 3801-5740
FAX 3801-5691

— 挨拶と笑顔が自慢のシルバー大学 —

理事長 箭内 忠義

私の母は百歳まで生きてくれました。百歳と六か月で亡くなりました。
2024年9月1日時点で百歳以上の方は、95,119人います。そのうち女性は83,958人、約88%です。今や、人生百年時代というのは現実のものになってきています。

医療の進歩や生活環境の改善などで長生きの秘訣を解明したとしても「いかに生きるか」は答えてくれません。しかしこれこそが高齢者の大切な課題です。私たちは単に生きながらえることが目的ではありません。ではどう生きればよいのか。

その答えはシルバー大学の学生の姿からヒントを得ることができます。学生に「シルバー大学に入って良かったことは何ですか」と尋ねました。その答えは次の4点に集約されました。

- ① 友達ができた。
- ② 勉強ができる。新しいことが覚えられる。
- ③ 行く場所が出来た。
- ④ とても楽しい。

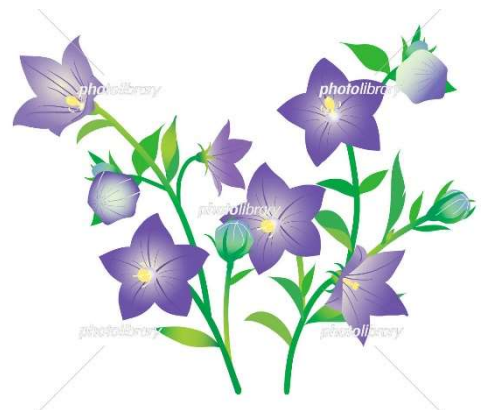
今まで一人の生活で孤立しがちだった日々に仲間が出来、たわいないがとても楽しい語らいが生まれてきた。教室に入り分からなかったことが分かるようになった。出来なかったことが出来るようになった。

生きがいや感動は積極的に学ぶこと、喜びを仲間と共有することから生まれてくるものです。シルバー大学は生きがいづくりの場なのです。

シルバー大学の特徴は学校の運営も学生が主体的に取り組んでいるところです。開講入学式、閉講卒業式、年3回ある合同講義、学園祭、学芸会等々、各担当者が協力して主体的に取り組む運営しています。日々の教室運営も助手の方、教室代表、副代表の方々が積極的に活動してくださっています。学生の皆さんの献身的な活動によってシルバー大学は運営されているのです。是非役員にもなってほしいと願っています。そしてまた、シルバー大学は何年でも、何歳でも学べる素晴らしい生きがいづくりの場所でもあるのです。

大学生活をより充実するための、魔法の言葉があります。それが挨拶と笑顔です。挨拶は人間関係の潤滑剤です。笑顔は信頼と共感を育むものです。

「挨拶と笑顔が自慢の荒川シルバー大学」新しい標語にしたい言葉です。



八十超えの上昇志向の思いを秘めた E さん・S さん・私の 3 人！ ホームページ係りです。那須高原へ題材探しも兼ね二泊三日の旅へ出掛けました。区民保養施設“ホテルグリーンパール那須”で宿泊お世話になりました。80 歳以上の方の区民在住者限定割引の恩恵に預かり、この時には歳をとるのも悪くないわね ～ と顔を見合わせニッコリ!!

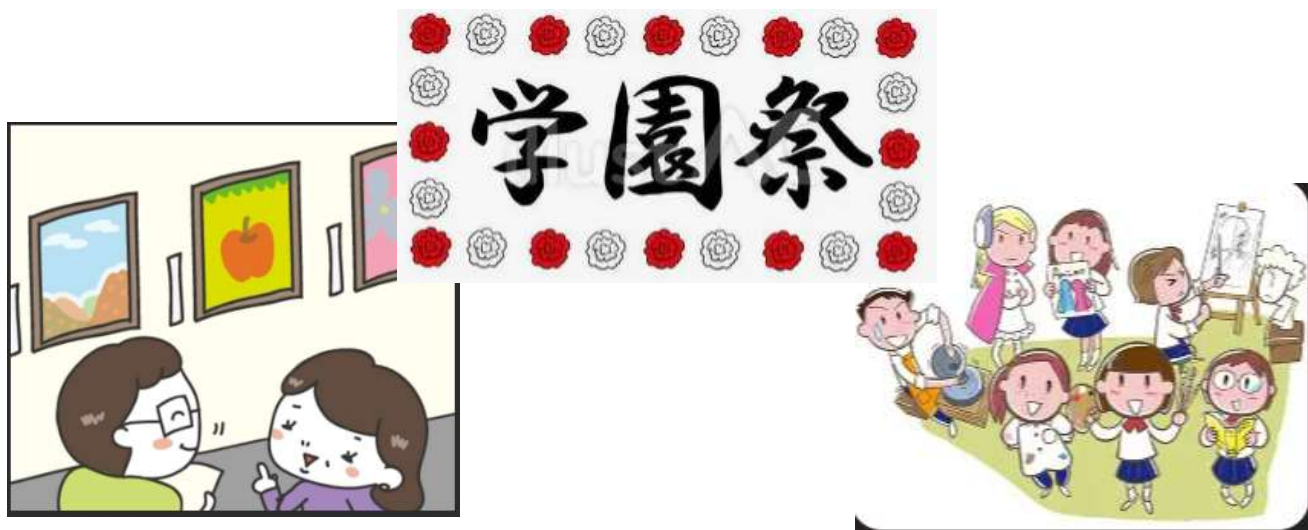
時代が変わり A I で物事が即座に調べる事が出来るようになりましたが、時間に縛られず現地の状況を見ながら行動したいとの思いから旅行本・時刻表を何十年ぶりかで揃え上野駅から鈍行電車で黒磯駅下車、地元のバス会社のバスで移動「道の駅・友愛の森」で途中下車、昼食タイムに時間を取りのんびりとしたひと時を過ごし、再度バスに乗り宿泊先のあるバス停で降り歩きつつ宿近くにある南ヶ丘牧場への立ち寄りを思いつき、ひと休みしてお世話になる宿へと向かいました。梅雨期でしたので一番の気かりはお天気でしたが、現地も猛暑日でしたが何事も無く一日目を



を終えました。二日目のハプニング：今回の旅の主軸「藤城清治美術館」那須高原へ開館時間 9：30 分一番乗りで入館し広大な森に足を踏み入れるとこびとやネコ、カエルたちのオブジェが美術館までの道案内をしてくれます。館内に入ると夢のような光と影の幻想世界が待ち受けていました。想像以上の作品の数々 200 点以上の影絵原画やデッサンが展示して有りました。生涯をかけて創り上げる常設美術館、101 歳を迎えた現在も藤城清治さんは精力的に創作活動をされています。ハプニングは夜に起きました。露天風呂に入っ

ている最中に前触れもなく突然雷の爆音が近くの樹木に落ちたかのように響き渡り身の危険を察し一目散に室内へ戻りセーフでした。この時、年甲斐もない程の瞬発力が出ていました。帰路日の三日目は、私が当地に居住していた時の友人の案内で塩原温泉郷まで足を伸ばし話が尽きないほど楽しいひと時を過ごし、題材探しも得た事もあり充実した気持ちで帰路につきました。





《 令和7年度 学園祭について 》

11月の学園祭に向けて、どの教室も準備に力が入ってきていることと思います。シルバー大学学園祭を以下のように開催いたします。今年は、前学長の木村先生の遺品の寄贈を受けて、バザーを実施します。皆様のご参加お待ちしております。

開催日：11月21日（金）・11月22日（土）・11月23日（日）

会場：町屋文化センター

2階ふれあい広場・プレイコーナー・3階1,2,3会議室・1階多目的ホール
参加教室：23教室

内容	日 時	教 室
作品鑑賞	21 日 13:40～16:30	★硬筆 ★水彩画 ★書道（火曜）★陶芸 ★俳句 ★東京近郊ミニ散歩 ★健康吹き矢 ★社会科見学
	22 日 9:30～16:30	★頭の体操 ★折り紙 ★自然と小さな旅 ★写真 ★料理 ★華道 ★絵手紙 ★陶芸
	23 日 9:30～14:00	★書道（金曜） ★おしゃれニット（木曜・金曜） ★本を楽しむ ★今と昔の歴史散歩 ★パステル絵の具画 ★足裏、ヘルスケア
実演	22 日（第2会議室） 10:00～14:30	★茶道 お茶会
映像発表	22 日（第3会議室） 10:00～16:30	★パソコン 作品上映
他	23 日（多目的ホール） 10:00～12:00	★陶芸 チャリティーバザー
	22 日（多目的ホール） 12:00～16:00	★故木村前学長の遺品バザー

※ご来場の際は、必ず2階の受付をお願いします。

（企画部）

俳句教室作品より

◎夜長の句を中心に

新郎が妻を活写や照紅葉	京
掌に包むぢいぢの湯呑み冬温し	智
終活の憶い出巡り夜長かな	かづ
一人居の自在楽しむ夜長かな	文
仏壇のお供え消ゆる夜長かな	笙
秋の夜は母の愚痴さえ懐かしき	恵秋
長き夜アルバムの中逍遙す	ゆき
長き夜や十字に紐の古手紙	謡
口開けの新酒の香り部屋に満ち	みつえ
目も口も閉ぢて音聴く夜長かな	花野
猫逝きて何時もの器菊一輪	とう子

◎小石川後樂園への吟行会の句を中心に

照紅葉錦織りなすタピスリー	智
空真青葉裏煌めく紅葉かな	文
冬木立さざ波みゆる池静か	洋輝
住職の携ふモップ冬の朝	謡
ふりまける銀杏落葉に子らがわく	恵秋
築山の木々の根元に冬椿	ふみ子
奥の院冬ざれの里佇まふ	かづ
冬の虹西に浄土の匂ひけり	和夫
一葉づつ枝の先より冬紅葉	とう子
落葉にも色さまざまのふきだまり	みつえ



学 園 日 誌 (9 月)



1 日	8 年度合同講義会場抽選(施設部)	25 日	シルバーだより 413 号作成
3 日	常任理事会・役員会	26 日	第三回合同講義
8 日	第三回合同講義打合せ (サンパール荒川にて)		♪南米のたて笛・ケーナ演奏 公演：グルーポ・マルテス
10 日	企画・施設部会議	29 日	荒川区共催申請書提出 (令和 7 年度学園祭)
16 日	広報委員会		
17 日	学園祭打合せ (町屋文化センター)		

※事務局だより※



1. 10 月の変更教室について

- ・気功教室（金）：3 日と 10 日と 24 日になります。（会場はレクホール）
- ・書道・金曜教室（金）：17 日（第四会議室と第五会議室）と
24 日（第三会議室と第四回室）になります。
- ・音楽教室（土）：4 日と 25 日になります。

2. 公開教室のお知らせ

11 月は各教室の授業をどなたでも見学できます。来年度の申込の参考になさってください。（変更のある場合がございます。事務所に電話でお問い合わせください。）

事務所 TEL3801-5740 FAX3801-5691

（ホームページ）<http://www.arakawa-silver.com/> 事務局長：田原